

給湯暖房用熱源機 取扱説明書 保証書付

ガス会社品名		型式名
FT-2899ARSSW3Q	135-4030型	GTH-1605SAWXH(-1)
FT-2899ARS2SW3Q	135-4034型	
	135-4039型	
FT-2899ARS4SW3Q	135-4032型	GTH-1605SAWXH-T
FT-2899ARS8SW3Q	135-4035型	GTH-1605SAWXH-TB
FT-2899ARS3SW3Q		
FT-2899ARS9SW3Q	135-4036型	GTH-1605SAWXH-H
FT-2899AFS1SW3Q	135-4038型	GTH-1605SAWXH-FF-1

このたびは給湯暖房用熱源機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

添付の保証書は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。

この説明書（保証書付）はいつでもご覧になれるところに保管してください。

こんなことができます

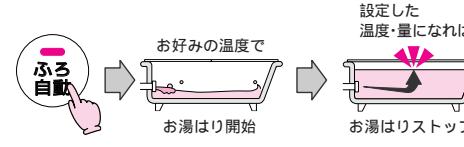
お湯を出す



お湯の温度をお好みの温度に設定して使用できます。

(目安の温度: ;)											
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
食器洗いなど				シャワー、給湯など				給湯など			
《高温》											

おふろを自動で沸かす
残り湯を沸かし直す



おふろの追いだきをする
<あつく>



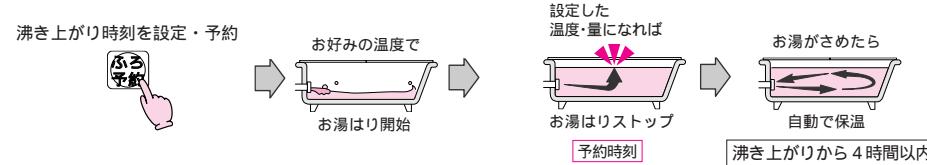
おふろのお湯を
増やす
<たっぷり>



おふろのお湯を
ぬるくする
<ぬるく>



おふろの沸き上がりの
時刻を予約する
(台所リモコンがある場合)



暖房する



お部屋をあたためることができます。

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意)	1
各部のなまえとはたらき(本体)	9
各部のなまえとはたらき(リモコン)	11
RC-6008S	11-12
RC-6009M	13-14
RC-6021S	15-16
初めてお使いになるときは	17
時計を合わせる	18

使いかた

お湯を出す/お湯の温度を調節する	19
おふろを自動で沸かす/残り湯を沸かし直す	21
ふろ温度を調節する	23
ふろ湯量を調節する	24
おふろの追いだきをする(あつく)	25
おふろのお湯を増やす(たっぷり)	26
おふろのお湯をぬるくする(ぬるく)	27
浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす	28
操作確認音の消しかた、鳴らしかた	28
おふろの沸き上がり時刻を予約する	29

暖房する

冬期の凍結による破損予防	33
日常の点検・手入れのしかた	37
故障かな?と思ったら	39
アフターサービスについて	43
主な仕様	44

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■危害・損害の程度による内容の区分

！危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
！警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
！注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

	感電注意		禁止
	高温注意		火気禁止
	アース必要		接触禁止
			分解禁止

！危険

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、次の1~2の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない。

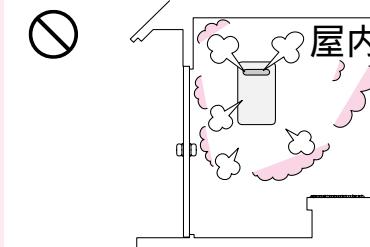
電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。

周辺の電話も使用しない。

火や火花で引火し、火災のおそれがあります。

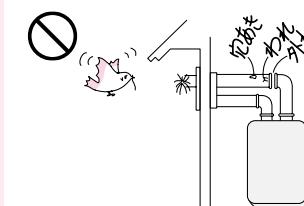
1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
2. 販売店または、最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡する。

屋内設置の禁止(屋外設置形のみ)



この本体は屋外設置形です。屋内(浴室内含む)への設置は、絶対にしないでください。
—酸化炭素中毒の原因になります。

給・排気筒の外れ、穴あき、つまり(屋内設置形のみ)



給・排気筒が外れていたり、穴があいていないか確認してください。

給排気トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまつたりしていないか確認してください。

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠ 警告

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。



2. 運転スイッチを「切」にする。



3. ガス栓・給水元栓を閉める。



異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよよりのガス会社にご連絡ください。

火災・感電・故障などの予防のため。

やけどに注意



高温注意



シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
やけど予防のため。



入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。
やけど予防のため。

(床暖房が設置されている場合)

床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしないでください。

低温やけどの原因になります。

子供に注意

浴そうの循環アダプター近くで水に潜らないでください。

思わぬ事故の原因になります。

特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

使用ガス、電源の確認



銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。

表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。

電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。

他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。

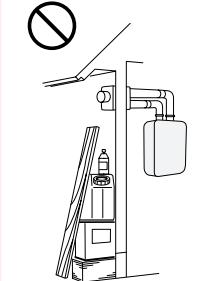
火災の予防

【屋外設置形の場合】



本体や排気口のまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
火災の原因になります。

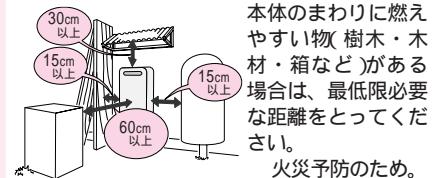
【屋内設置形の場合】



本体や給排気筒トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など)を置かないでください。
火災の原因になります。

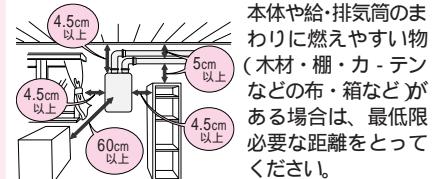
周囲の防火措置について

【屋外設置形の場合】



本体のまわりに燃えやすい物(樹木・木材・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
火災予防のため。

【屋内設置形の場合】



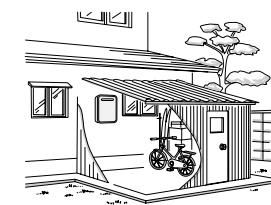
本体や給・排気筒のまわりに燃えやすい物(木材・棚・カーテンなどの布・箱など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
火災予防のため。

アフターサービス上の寸法です。

波板囲いなどの禁止

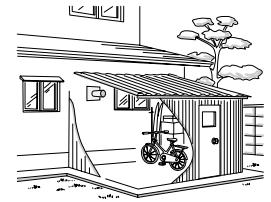
【屋外設置形の場合】

増改築などによって、本体を屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



【屋内設置形の場合】

増改築などによって、給排気筒トップを屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



製品の設置・移動工事は

製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

思わぬ事故を予防するため。

⚠ 注意

やけどに注意



排気口や排気筒のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。
やけど予防のため、特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

用途について

台所・おふろなどの給湯、シャワー、おふろを沸かす、暖房(乾燥)以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため、本体や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

本体のまわりはきれいに

本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。
まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、本体の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはつたりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

お願い

ア - スの確認



ア - スする！

この本体には、ア - スが必要ですで確認してください。
本体が故障した場合、感電の原因になります。

停電時の処置

停電したときは、運転が停止します。
停電後、設定した給湯温度表示・ふろ温度表示・ふろ湯量表示が、お買い上げ時の設定に変わることがありますので確認してから使用してください。
(電源プラグを抜いたときも同じです。)

感電に注意



電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



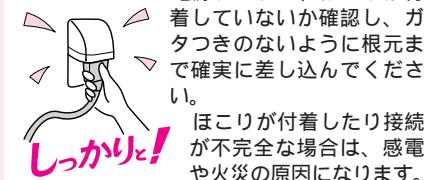
おふろ沸かし時の注意



浴そうの循環アダプターをタオルなどでふさいだり、穴に物を詰めたりしないでください。
循環不良になり、おふろ沸かしができません。

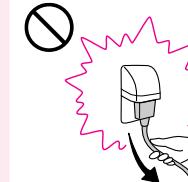
追いだき中や追いだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で温度差がある場合がありますので注意してください。
やけど予防のため。

電源プラグは確実に



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



電源プラグの抜き差しは、プラグを持っておこなってください。
コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

本体・リモコンの分解禁止



本体・リモコンは絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

リモコンについて



リモコンの掃除には、ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
浴室リモコンは防水型ですが、故意に水をかけないでください。
故障の原因になります。
(台所リモコンは防水型ではありません。)
台所リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。
故障の原因になります。

お願い

入浴剤や洗剤の注意

硫黄(イオウ)・酸・アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。
入浴剤や洗剤は注意文を充分にお読みになつてからお使いください。

本体の熱交換器が腐食する原因になります。



入浴剤を使用して追いだきした時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それ以降その入浴剤の使用をやめてください。

太陽熱温水器との接続禁止

ソーラー対応ミキシングユニット(スカイブレンダー) <SKB-100> <046-0155型>を使用する場合は除く
太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。

お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。

また本体の故障の原因になります。

市販の補助用具使用について

この本体の純正部品以外は使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。
水圧の低い地域では、泡沫水栓を使用しないでください。

給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
(わからないときは、販売店または、もよりのガス会社に確認してください。)

長期間使用しない場合

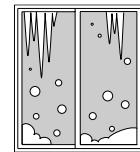
長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。
(☞P35,36)

積雪時の注意

積雪時には給・排気口の点検、除雪をおこなってください。

給・排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、給・排気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

凍結に注意



冬期は、凍結による本体の破損予防のため必要な処置をしてください。
(☞P33～36)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

排気ガスについて

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。
増改築時も同様に注意してください。

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

特監法対象製品です(屋内設置形のみ)

この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後本体と(給)排気筒に法定のステッカーを貼り付けることになっていますので確認してください。

お願い

ガス事故防止

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

温泉水や自家用井戸水で使うと

水質によっては、本体内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

日常のお手入れ

浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

浴そうのフィルターはこまめに掃除してください。

ポンプ故障の予防のため。

結露現象に注意

水を出すときには、給湯器の運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すことはしないでください。

シングルレバー混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

お湯を出すときには、給湯器の運転スイッチが「入」であることを確認してお湯を出してください。

運転スイッチ「切」の状態でお湯側より水を出すと、熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因となったり、電気部品の損傷につながります。

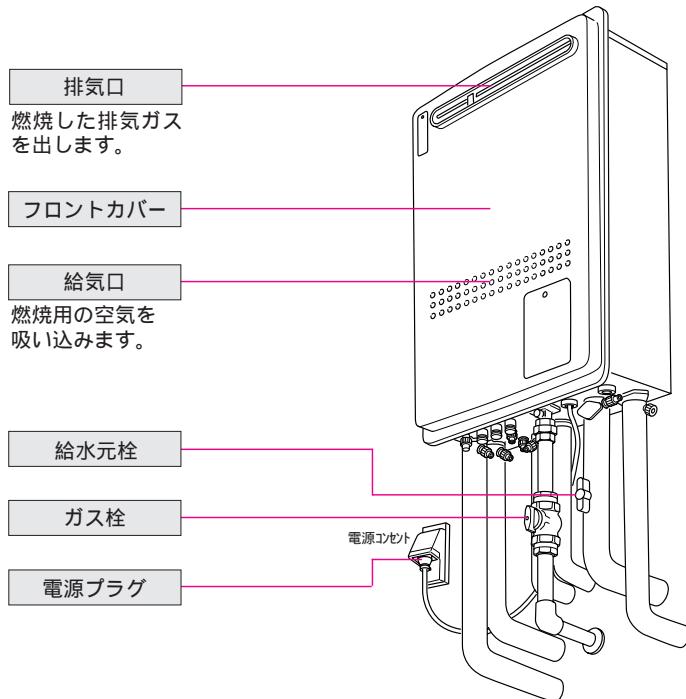
この製品は一般家庭用です

業務用のような使い方をされると、製品の寿命を短くします。この場合の修理は、保証期間内でも有料となります。

各部のなまえとはたらき(本体)

本 体

FT-2899ARSSW3Q , 135-4030型
【屋外設置壁掛形】



品名と外観

排気部の形状が異なり設置形態が変わります。

屋外設置形	PSアルコープ設置	PS設置前方排気形	PS設置後方排気形	PS設置上方排気形
	FT-2899ARS2SW3Q 135-4034,135-4039型	FT-2899ARS4SW3Q 135-4032型	FT-2899ARS8SW3Q FT-2899ARS3SW3Q 135-4035型	FT-2899ARS9SW3Q 135-4036型

屋内設置形	屋内設置強制給排気形 (二本管)
	FT-2899AFS1SW3Q 135-4038型

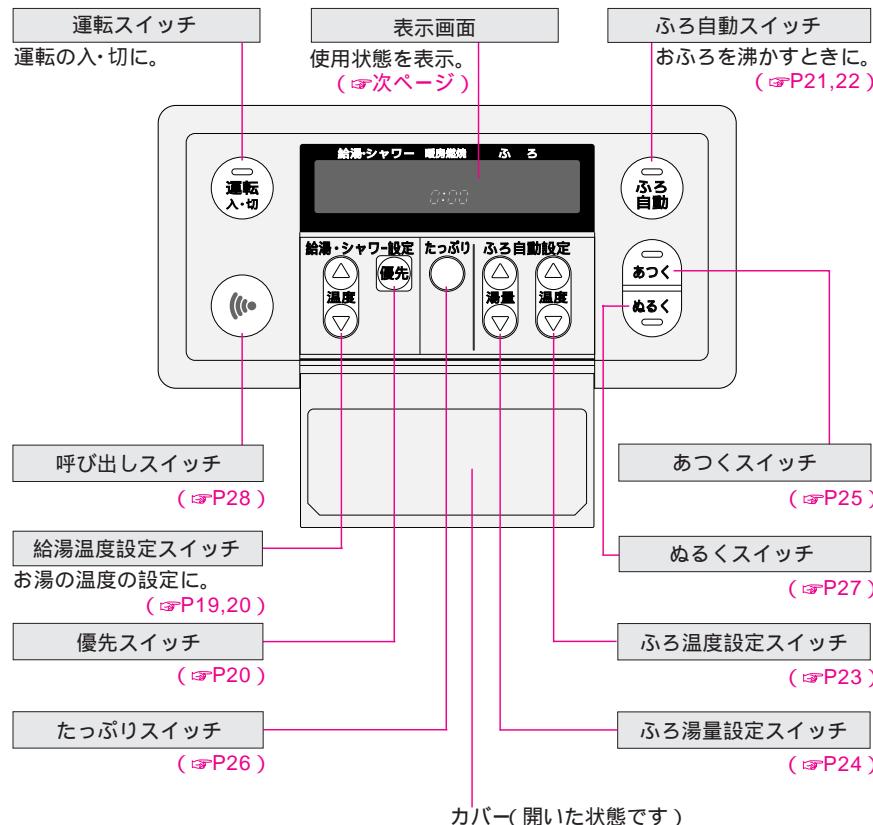
上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

各部のなまえとはたらき(リモコン-1)

浴室リモコン(RC-6008S)<別売品>

(浴室に取り付けます)

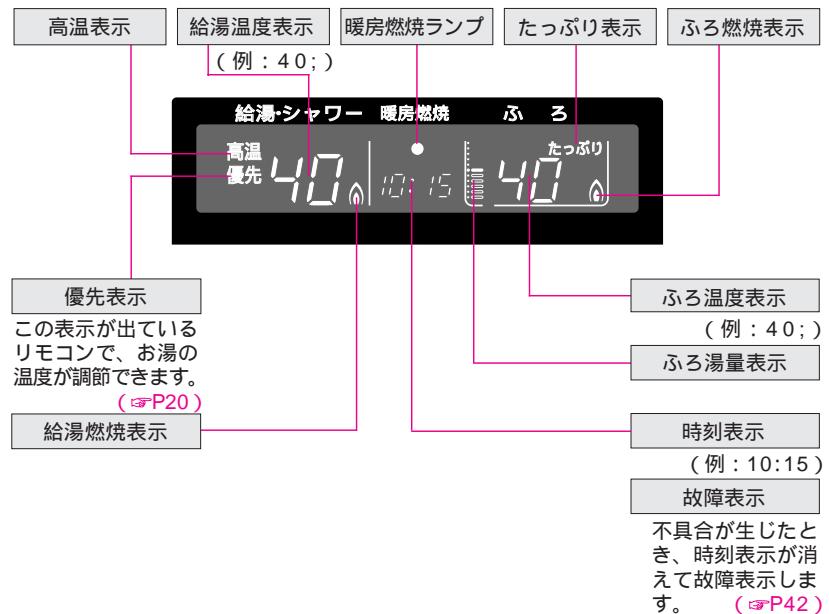
東京ガス名称 : FBR-A99A
大阪ガス名称 : 138-3030型



ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

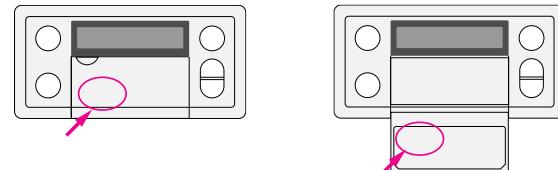
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコン名称をお確かめください

下図のように、リモコンのカバーの表または裏に記載しています。

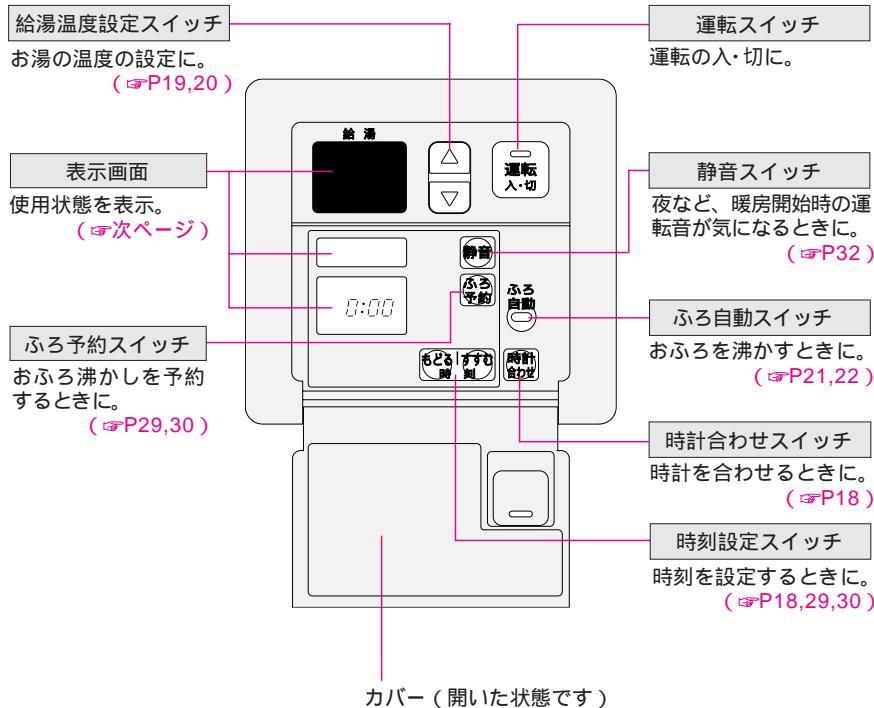


各部のなまえとはたらき(リモコン-2)

台所リモコン(RC-6009M)<別売品>

(台所などに取り付けます)

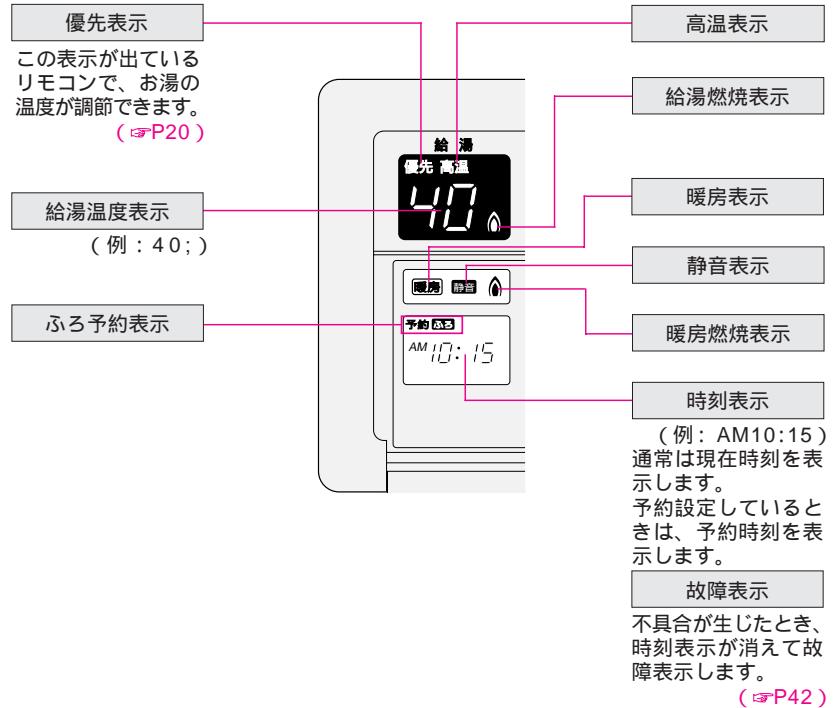
東京ガス名称 : FKR-A99A-S
大阪ガス名称 : 138-3030型



ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

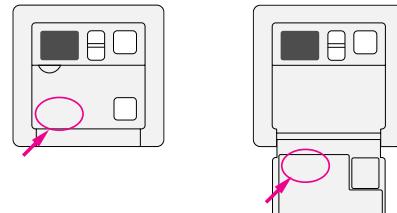
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコン名称をお確かめください

下図のように、リモコンのカバーの表または裏に記載しています。



各部のなまえとはたらき(リモコン-3)

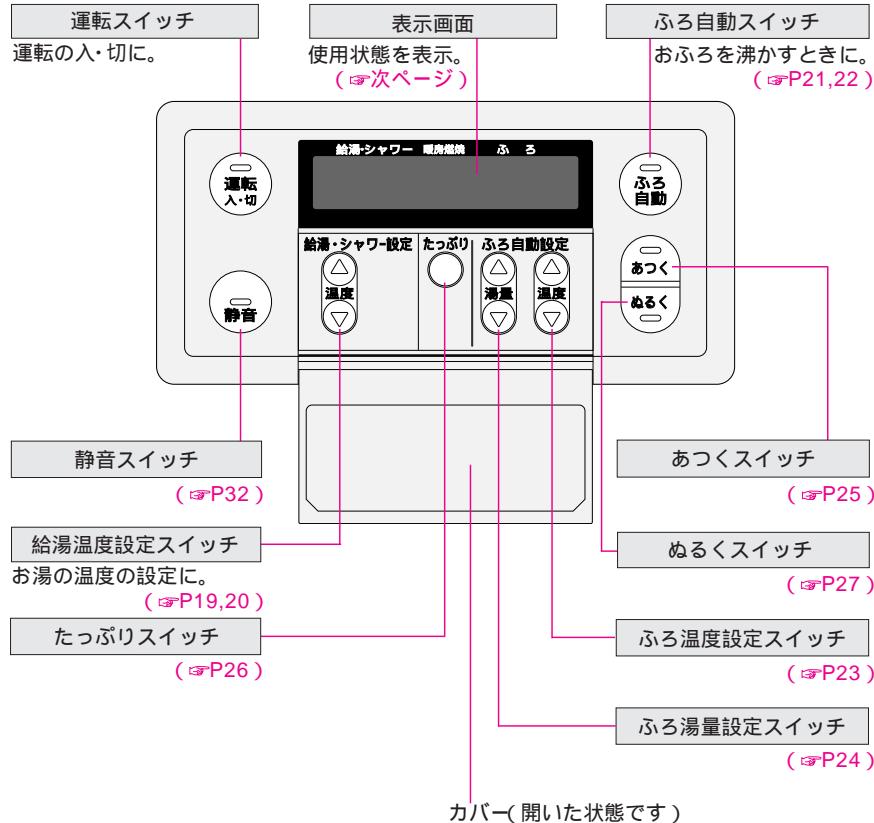
浴室リモコン(RC-6021S)<別売品>

(浴室に取り付けます)

このリモコンは、台所リモコンとの組み合わせはできません。

東京ガス名称：FBR-S99A-S

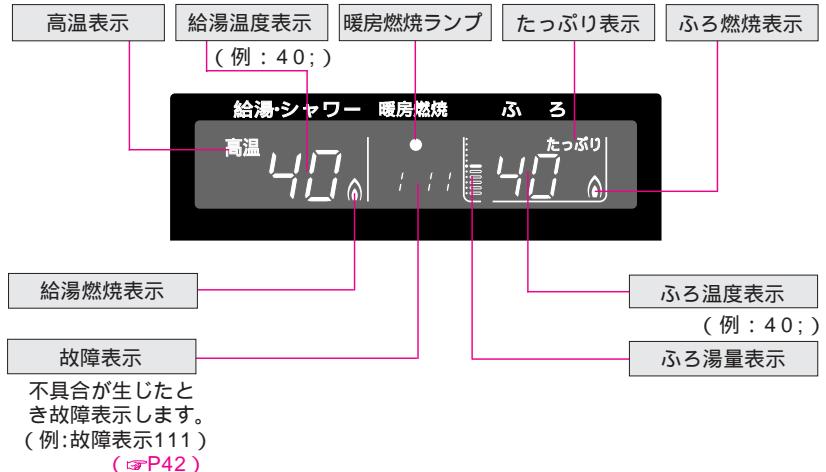
大阪ガス名称：138-3031型



ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

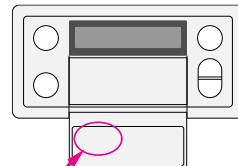
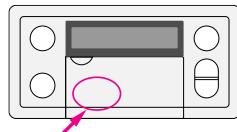
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコン名称をお確かめください

下図のように、リモコンのカバーの表または裏に記載しています。



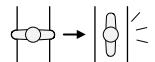
初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

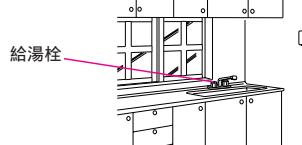
1~5の手順でおこなってください。

(屋外設置壁掛形で説明していますが、その他の機種でも手順は同じです)

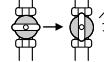
1 給水栓を全開にする。



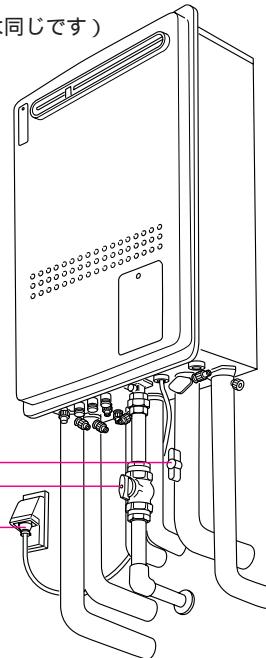
2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。



5 ポンプの呼び水をする。

浴室リモコンで操作してください

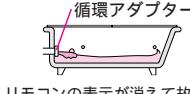
q 運転スイッチを押す



w ふろ自動スイッチを押す



e 浴そうの循環アダプターから水が出てくことを確認する



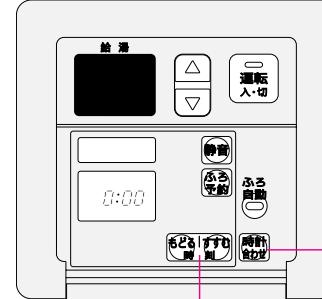
r ふろ自動スイッチを押す



リモコンの表示が消えて故障表示<!!!!>が出たときは、運転スイッチをいったん「切」にし、もう一度qよりやり直してください。

時計を合わせる (台所リモコンがある場合)

(台所リモコン)



1,3
2

1 時計合わせスイッチを押す



<AM 0:00>が点滅します。

2 現在時刻を合わせる



1度押すごとに1分ずつ、押し続けると10分ずつ変わります。

3 時計合わせスイッチを押して確定する



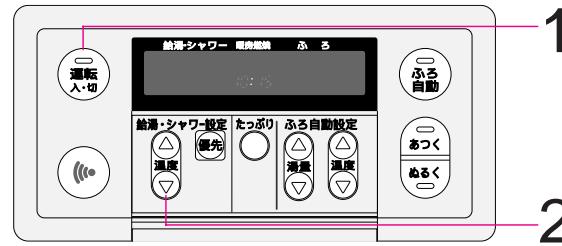
点滅から点灯に変わり、時計が動き出します。



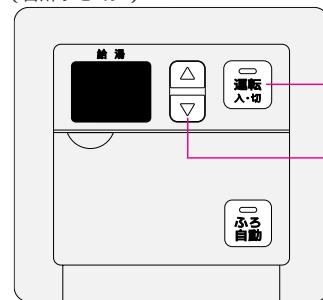
運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。(イラストは運転「切」の状態です)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021Sも操作は同じです



(台所リモコン)



ここでは浴室リモコンでご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



点灯

前回に設定した温度
(例: 40°C)

！警告

やけど予防のために。



シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。

60°Cに設定したときは、

・高温表示が約10秒間点滅後、点灯
でお知らせします。

60°Cの高温を使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。

シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



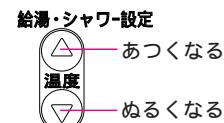
約10秒間点滅→点灯



<浴室リモコン表示画面>



<一度設定すると記憶します>

2 (温度を調節する
(変更しないときは
温度を確認する))給湯・シャワ-設定
△ あつくなる
▽ ぬるくなる

3 給湯栓を開ける



お湯の温度



燃焼表示

4 給湯栓を閉める



消灯

(;: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
実際の温度とは異なります。)

調節範囲		目安の温度	
37	38	40	41
41	42	43	44
44	45	46	47
47	48	48	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など	給湯など	高温

サー付混合水栓の場合は、
リモコンのお湯の温度設定を
ご希望の温度の約10°Cアップ
に設定すると、ちょうどよく
なります。お湯の温度は、《優先》を表示しているリモコンで調節します
(浴室リモコン・台所リモコンの両方がある場合)浴室リモコンで調節したいが
優先表示がついていない

《優先》を押す。

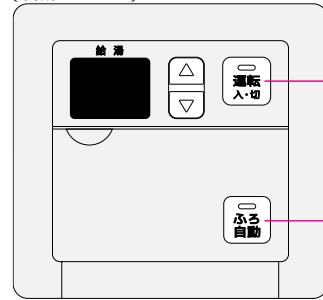
台所リモコンで調節したいが
優先表示がついていない《優先》を表示し、
そのリモコンで
お湯の温度の調
節ができます。ふろ運転中にこの操作をすると
ふろ運転が停止します。

おふろを自動で沸かす / 残り湯を沸かし直す

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021S も操作は同じです



(台所リモコン)



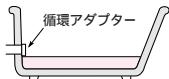
お湯温度やお湯湯量の調節・変更のしかたは、23~24ページをご覧ください。

初期設定(工場出荷時)

• お湯温度 40°C
• お湯湯量 200リットル

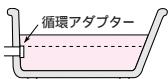
残り湯を沸かし直すときの注意

残り湯が、循環アダプターより下にある場合



残り湯の分だけ沸き上がり量が増えます。

残り湯が、循環アダプターより上にある場合



沸き上がり量がばらつく場合があります。
沸き上がり量が少なかった場合にたっぷりスイッチを押すと20リットルお湯が増えます。

残り湯が、設定湯量近く入っている場合



追いだき([P25](#))により沸かしなおしてください。
お湯自動沸かしで沸かし直すと、お湯があふれる場合があります。

お湯自動沸かしが完了しないうちにお湯自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのをくりかえすと、お湯があふれることができます。

お湯が浴そうの循環アダプターから出たり止まったりしますが、異常ではありません。

ここでは浴室リモコンでご説明します

1

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。



2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。

1

2

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



表示



2 お湯自動スイッチを「入」にする



ランプが点灯し、お湯はりを開始します。約10秒後ランプが点滅に変わります。

お湯はりがおわると、追いだきします。

沸き上がり



約4時間、自動追いだき保温を続けます。

保温中にお湯の温度設定を上げてもすぐには追いだきしません。
追いだきしたい場合は、あつくスイッチを押してください。
([P25](#))



表示 (お湯はり中) 表示 (追いだき中)

入浴できる状態に近づくと、ランプが速い点滅に変わり、ブザー(ピピピ音)でお知らせします。

途中でお湯自動運転をやめたいとき

沸き上がり後、自動追いだき保温の必要がないとき

もう一度お湯自動スイッチを押す。(ランプ消灯)



やけど予防のために。



お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯設定温度のお湯が出来ます。
お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出来ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

ふろ温度を調節する

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021Sも操作は同じです



1

ふろ温度は、初期設定(工場出荷時)を40℃にしていますが、お好みの温度に変更することができます。一度設定した温度は、次回変更するまで記憶しています。

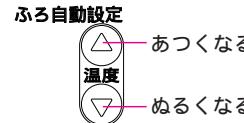
2

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 ふろ温度設定スイッチで ふろ温度を調節する



表示 ふろ温度 (例: 40℃)



変更したふろ温度

(: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ	ふつう				あつめ						

(: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

(: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

ふろ湯量を調節する

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021Sも操作は同じです



1

ふろ湯量は、初期設定(工場出荷時)を200Lにしていますが、お好みの湯量に変更することができます。一度設定した湯量は、次回変更するまで記憶しています。

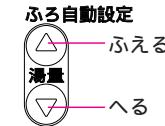
2

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



2 ふろ湯量設定スイッチで ふろ湯量を調節する



表示 ふろ湯量表示 (例: 40L)



変更した ふろ湯量表示

ふろ湯量表示	設定湯量	浴そうの大きさ(目安)
●	330L	1600タイプ
●	300L	1600タイプ
●	270L	1400タイプ
●	245L	1400タイプ
●	220L	1200タイプ
●	200L	1100タイプ
●	180L	900タイプ
●	165L	800タイプ
●	150L	800タイプ
●	140L	800タイプ
●	130L	洋バス

使いかた

おふろの追いだきをする(あつく)

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021Sも操作は同じです



1

お湯の温度がお湯設定温度より低い場合は設定温度まで、お湯の温度がお湯設定温度以上の場合はお湯の温度 + 約1;まで、追いだきします。(最高50;まで)

2



<運転スイッチ「切」のとき>

運転前の準備

浴そうの循環アダプター上部より5b以上お湯(または水)が入っているか確認する。



1 運転スイッチを「入」にする



表示



2 あつくスイッチを「入」にする



点滅

追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

追いだき(あつく)をやめたいとき

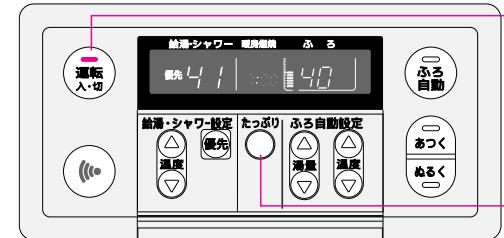
もう一度あつくスイッチを押して「切」にする。(ランプ消灯)

追いだき(あつく)は、おふろの自動沸かしのお湯はり中(お湯自動ランプ点滅中)は使用できません。

使いかた

おふろのお湯を増やす(たっぷり)

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021Sも操作は同じです



1

スイッチを押すと、約20リットルお湯が増えます。



2

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



表示



2 たっぷりスイッチを押す



表示



たっぷり表示が点灯し、お湯を約20リットル足し湯し、自動的に止まります。

(お湯の温度はお湯設定温度です。)

足し湯(たっぷり)をやめたいとき

もう一度たっぷりスイッチを押す。(たっぷり表示消灯)



足し湯(たっぷり)中に台所やシャワーなどでお湯を使うと、お湯設定温度のお湯がでます。足し湯(たっぷり)はおふろの自動沸かしのお湯はり中(お湯自動ランプ点滅中)は使用できません。

使いかた

おふろのお湯をぬるくする(ぬるく)

(例: 浴室リモコン RC-6008S) RC-6021Sも操作は同じです



1 スイッチを押すと、約10㍑の水と約3㍑のお湯がはいります。
(約3㍑のお湯は、次の運転の準備のためです)



<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



表示



2 ぬるくスイッチを「入」にする



約10㍑の水がはいり(その後ランプ消灯) 約3㍑のお湯がはいつてから停止します。

お湯をぬるくするのをやめたいとき

もう一度ぬるくスイッチを押して「切」にする。(ランプ消灯)

約3㍑のお湯を入れてから停止します。



「ぬるく」は、お湯の使用中またはおふろの自動沸かしのお湯はり中(ふろ自動ランプ点滅中)は使用できません。

「ぬるく」中に台所などの給湯栓を開けると、「ぬるく」は中止されます。

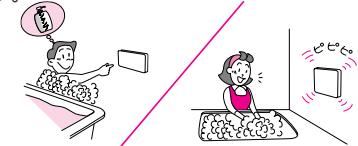
使いかた

浴室から台所リモコンのブザーを鳴らす (台所リモコンのある場合)

(浴室リモコン RC-6008Sのみ)



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼び出しスイッチで知らせることができます。



呼び出しスイッチを押す



台所リモコンでブザーが鳴ります。
(スイッチを押している間鳴り続けます)
この間、呼び出しランプが点灯します。

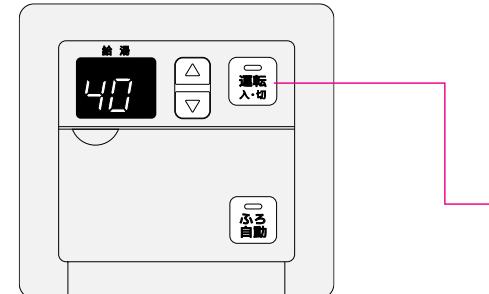
浴室リモコンRC-6021Sの場合は、
呼出スイッチがないため、呼び出しはできません。

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた

操作確認音の消しかた、鳴らしかた

(例: 台所リモコン)



各リモコンで個別に設定できますが
ここでは台所リモコンでご説明します

沸き上がりブザーおよび呼び出しブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という音がします。
お好みによりこの音を鳴らさないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
(お買い上げ時は鳴るように設定しています。)

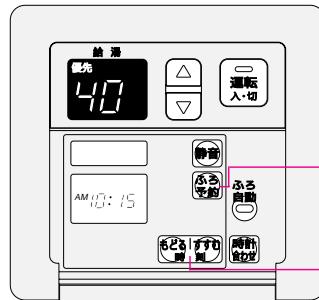
運転スイッチを
5秒以上押し続ける



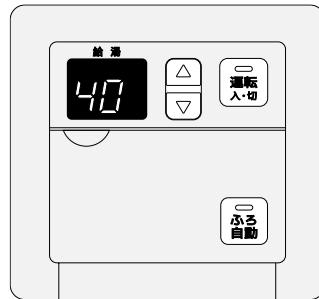
おふろの沸き上がり時刻を予約する

(台所リモコンがある場合)

(台所リモコン)

1・3
2

<フタをした状態のとき>



運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環アダプターに、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。
4. 沸き上がり時のお湯温度とお湯湯量を確認する。



5. 現在時刻が正しいかどうか確認する。

予約時刻の60分前までは予約してください。
予約する時刻は、沸き上がり時刻です。
(運転を開始する時刻ではありません。)

警告



やけど予防のために。

高温注意

お湯はり中に、台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯設定温度のお湯が出ます。お湯はりが終わると給湯設定温度のお湯が出ますので、給湯を高温に設定しているときはご注意ください。

運転スイッチ「入・切」に関係なく予約運転できます。(イラストは「入」の状態です。)
前日などの残り湯(水)があるとき、または、予約したお湯沸かし中に給湯を使用すると、沸き上がり時刻が遅れる場合があります。

1 お湯予約スイッチを押す

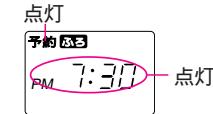


一度、2で沸き上がり時刻を設定していると、その時刻を表示します。

2 沸き上がり時刻を設定する
(変える必要がない場合3へ)

一度押すごとに10分ずつ、押し続けると1時間ずつ変わります。

3 沸き上がり時刻を確認し、お湯予約スイッチを押す



お湯自動ランプが点灯します。



お湯沸かしが始まる前に
予約をやめたいとき

もう一度
お湯予約スイッチを
押す。



お湯沸かし開始

予約した時刻にお湯
が沸き上がるよう、
約30~60分前に自動
運転を開始します。



お湯沸かしが始まったあとで
お湯沸かしをやめたいとき

お湯自動スイッチを押す。
(ランプ消灯)



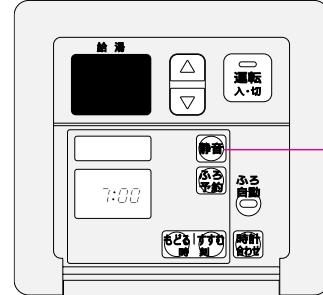
沸き上がり



約4時間、自動追いだき保温を続けます。
保温中にお湯の温度設定を上げてもすぐには追いだ
きません。
追いだきしたい場合は、あつくスイッチを押してく
ださい。(☞P25)

暖房する

(台所リモコンの場合)

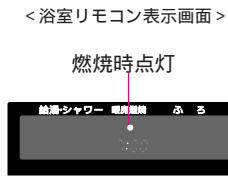
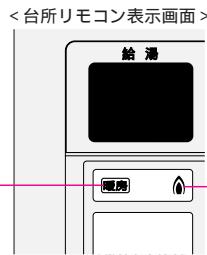


(浴室リモコン RC-6021S の場合)



1 暖房する部屋の放熱器の 運転スイッチを「入」にする

本体が運転します。



運転中点灯 燃焼時点灯

運転スイッチの「入・切」に関係なく暖房運転できます。(イラストは「切」の状態です)
放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器側の取扱説明書にしたがってください。
暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開いたままにしておいてください。

2 放熱器の 温度調節をする (温度調節機能のある放熱器のみ)

設定温度に合わせて、本体が能力を調節します。

暖房時の熱源機の運転音が気になるときは…

夜など、暖房開始時の運転音が気になるときには、静音スイッチを押してください。
暖房時の運転音を下げて運転します。
(このとき暖房能力は少し低下します。)

<台所リモコンの場合>



点灯

<浴室リモコンRC-6021Sの場合>



浴室リモコンRC-6008Sには静音スイッチはありません

静音スイッチのはたらき

通常、暖房開始時は最大能力運転となります
が、静音スイッチを押すことで暖房能力を低下させ、運転音を下げることができます。

静音運転をやめるときは、もう一度静音スイッチを押してください。

冬期の凍結による破損予防 -1

冬期には本体や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の方法で凍結を予防する必要があります。

1. 給湯・ふろ回路の凍結予防

通常の寒さのとき [外気温が-15℃まで無風のとき]

給湯側もふろ側も、自動的に凍結予防します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

給湯側	気温が下がってくると、凍結予防ヒータが自動的に作動して本体内を保温し、凍結を予防します。
ふろ側	<浴そうの循環アダプターより上に水がないとき> 凍結予防ヒータで凍結予防します。(上記「給湯側」参照)
ふろ側	<浴そうの循環アダプターより上に水があるとき> ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。 水が循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。

冷え込みが厳しいとき [外気温が極端に低くなる日(-15℃以下)や、それ以上の気温でも風のある日]

給湯側は以下の要領で、通水による凍結予防をしてください。

ふろ側は自動的に凍結予防します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

給湯側	1. 運転スイッチを「切」にする。 2. お風呂の給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400ml・太さ約4mm)を流したままにしておく。 サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。 3. 流量が不安定になることがあるので、約30分後に再度流れる量を確認する。 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態で給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが、凍結予防の処置の場合は気温が低いので問題ありません。	 4mmくらい	この方法は、本体だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。この処置をしても凍結するおそれのある場合には、35~36ページの要領で水抜きをおこなってください。
ふろ側	ポンプで自動的に浴そうの水を循環させて、凍結を予防します。 水が循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。 リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。		

2. 暖房回路の凍結予防

自動的に凍結予防します。

電源プラグを抜くと作動しないため、電源プラグは抜かないでください。

ガス栓は開いたままにしておいてください。

リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

暖房回路	気温が下がってくると、自動的に暖房運転(燃焼)して暖房回路の水をあたため、凍結を予防します。
暖房回路	不凍液を使用している場合もあります。 (本体フロントカバー下部にラベルが貼ってある場合は不凍液を使用しています)

凍結して水が出ないとき

以下の処置をしてください。

凍結して水が出なくなったら、暖房運転もしないでください。

以下の処置でガス栓を閉めても、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。

1. ガス栓・給水元栓を閉める。
2. リモコンの運転スイッチを切り、給湯栓を開ける。
3. ときどき給水元栓を開け、水が出ることを確認する。
4. 水が出るようになっても、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上使用してください。

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。本体の故障の原因となります。凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

冬期の凍結による破損予防 -2

長期間使用しないとき

以下の要領で、水抜きによる凍結予防をしてください。(右ページイラストを参照してください)

!**注意**



お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が
冷えてからおこなってください。
高温注意 やけど予防のため。

床やパイプシャフト内部に水がこぼれないよう容器などで排水を受けてください。

ガス元栓・給水元栓を閉める

- 1 ガス栓を閉める。
- 2 給水元栓を閉める。

ふろ側の水抜き

- 3 浴そう内の水を完全に排水する。

- 4 1)リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)あつくスイッチを「入」にし、循環アダプターより排水することを確認し、2分程度そのままにする。
(鳥居配管など配管が本体より高い場合は、ふろ水抜き栓zxを左にまわして開けたあと、あつくスイッチを「入」にし、ふろ水抜き栓xより排水することを確認する。) 注1,注3
- 3)完全に排水したら、運転スイッチを「切」にする。

- 5 ふろ水抜き栓zx・ポンプ水抜き栓を左に回して開け排水する。注2

給湯側の水抜き

- 6 すべての給湯栓を全開にする。

- 7 1)給湯水抜き栓を左に回して開ける。
2)エアーチャージ栓を左に回して開ける。(お湯または水が約800cc出ます。)

- 8 1)リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)ふろ自動スイッチを押し、1分程度そのままにする。注3

暖房側の水抜き

本体フロントカバー下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認してください。

<不凍液が入っている場合> 以下の9の操作は必要ありません。

<不凍液が入っていない場合> 以下の9の操作で暖房側の水抜きしてください。
ただし、放熱器や暖房配管の凍結予防はできません。

- 9 暖房车水抜き栓z~b(5ヶ所)を左に回して開け、3分程度そのままにする。

最後に

- 10 運転スイッチを「切」にする。

- 11 電源プラグを抜く。

ぬれた手でさわらないで

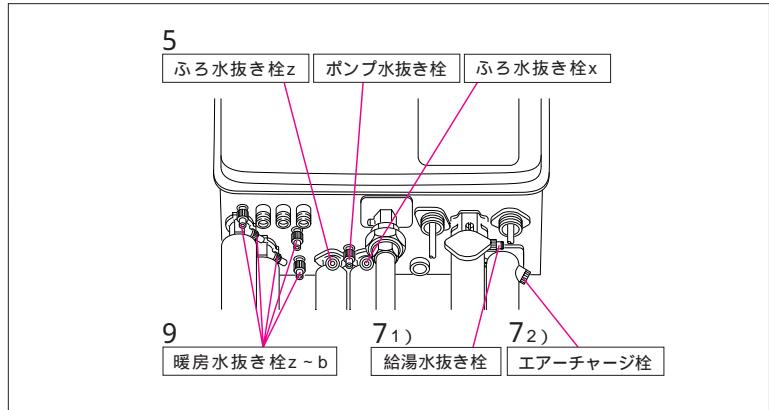
- 12 すべて排水されたことを確認したあと、すべての水抜き栓・エアーチャージ栓・すべての給湯栓を右にまわして閉める。

注1) ふろ側の水抜きをおこなったあとは、浴そうに水を流し込まないでください。

注2) ポンプ水抜き栓を開けたあとは絶対に追いだきなどのふろ運転をしないでください。ポンプ故障の原因になります。

注3) リモコンに故障表示《562》《632》を表示する場合がありますが、異常ではありません。

<下から見た図>



水抜き後の再使用のとき

1. すべてのふろ水抜き栓・ポンプ水抜き栓・暖房车水抜き栓・エアーチャージ栓、およびすべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
2. 給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、本体や配管から水漏れないかよく確認する。
4. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
5. ポンプの呼び水をする。(☞P17)

通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示《562》《632》が表示する場合

放熱器のスイッチとリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、本体の給水元栓が開いていること・すべての暖房车水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

日常の点検・手入れのしかた

点検(月1回程度)

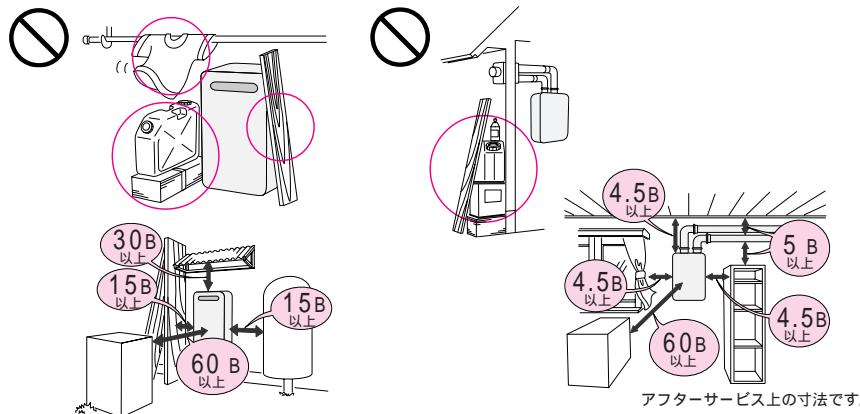
！注意



お湯の使用後は、本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。



本体や排気口、給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー・缶など、燃えやすいものを置いていませんか。



運転中に本体から異常音が聞こえませんか。

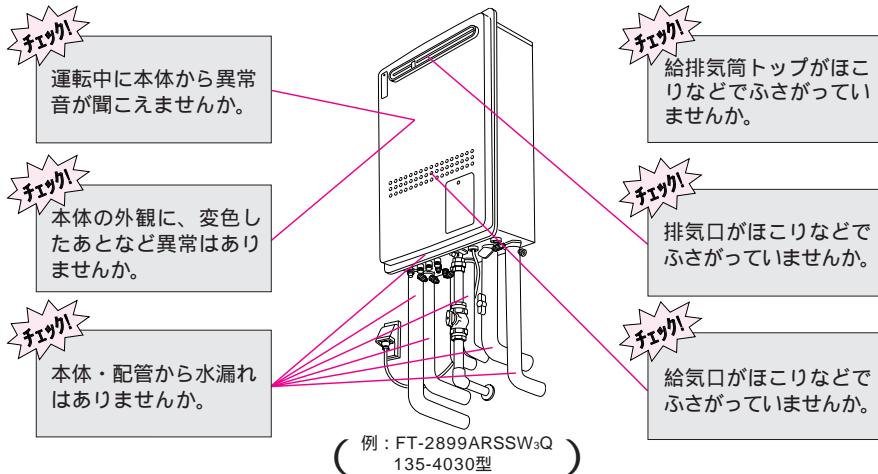


本体の外観に、変色したあとなど異常はありませんか。



本体・配管から水漏れはありませんか。

(例: FT-2899ARSSW₃Q
135-4030型)



お手入れ(月1回程度)

本体

本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤をおつかいください。

リモコン

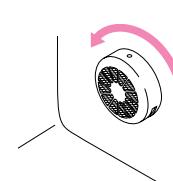
リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。
乾いた布でふいた場合、表示画面(液晶部)が乱れることがありますので故障ではありません。
しばらく放置しておくとの状態に戻ります。

リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコンは防水タイプではありません。)

お手入れ(こまめに掃除)

フィルター

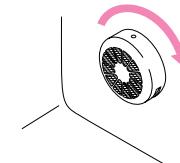
1 浴そうの循環アダプターのフィルターを左にまわしてはずす



2 フィルターを掃除する



3 元通りに取り付ける



循環アダプターのフィルターを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、本体が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。
販売店にご相談ください。

故障かな？と思ったら-1

次のことをお調べください

運転ランプが点灯しない

- ▶ 停電していませんか？
- ▶ 電源プラグが差し込まれていますか？

給湯栓を開いても
お湯が出ない

- ▶ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- ▶ 断水していませんか？
- ▶ 給湯栓は充分開いていますか？

使用中に消火した

- ▶ 凍結していませんか？
- ▶ ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

- ▶ ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
- ▶ リモコンの給湯温度設定は適切ですか？(☞P19,20)

- ・浴そうの循環アダプター上部より5b以上お湯または、水が入っていますか？
- ・ポンプの呼び水をしましたか？(☞P17)
- ・循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(☞P38)

追いだき運転ができない
追いだき運転中に消火した

- ・リモコンのふろ温度設定は適切ですか？(☞P23)
- ・循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(☞P38)
- ・循環アダプターのフィルターにゴミや毛髪が詰まっていますか？(☞P38)
- ・残り湯によっては、多くお湯はりすることができます。

(☞P21)

お風呂のお湯がぬるい
お風呂のお湯があつい

- ・リモコンのふろ湯量設定は適切ですか？(☞P24)
- ・おふろの自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのをくりかえすと、お湯があふれることができます。

上記の確認をしてもおかしいときは、もよりのガス会社に連絡してください。

おふろの自動沸かしで
お湯があふれことがある

- ・リモコンのふろ湯量設定は適切ですか？(☞P24)
- ・おふろの自動沸かしが完了しないうちにふろ自動スイッチを何度も「切」にしたり「入」にしたりするのをくりかえすと、お湯があふれることができます。

次のような場合は故障ではありません

給湯栓を絞りすぎて
水になった

- ▶ 給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5リットル以下になつたとき消火します。
- ▶ 給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

給湯栓を開いても
すぐお湯が出てこない

- ▶ 本体から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

寒い日に排気口から
湯気が出る

- ▶ 冬に吐く息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

次のような場合は故障ではありません

お湯が白く濁って見える

▶ これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となつて出てくる現象です。

ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違ひ、無害です。

エアーチャージ栓(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある

▶ 製品の機能上(しくみ)であり、異常ではありません。

運転を停止しても
しばらくの間ファンの
回転音(ブーン)がする

再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。

ポンプの回転音(ウーン)がする

▶ おふろの追いだき終了後、お湯をまぜるためにポンプがしばらく回ることがあります。

ときどき、ポンプの
回転音(ウーン)がする

おふろの予約運転時、予約時刻の1~2時間前に、残り湯チェックのためポンプの運転をします。

お湯の量が変化する

気温が下がると、凍結予防のため、ポンプで浴そうの水を循環させます。

残り湯を沸かし直すと
沸き上がり量がばらつく

▶ 長期間使用しない場合に、床暖房回路内にたまつた空気を抜き、次回使用するときに支障がないようにするためにポンプが自動的に回ります。(1ヶ月ごと)

低温のお湯が出ない

お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、ふろ自動運転・ふろ予約運転をすると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減つたり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。

高温のお湯が出ない

お湯の温度を安定させるため、お湯の出始めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。

▶ 季節により、また残り湯の量などによっては、沸き上がり量がばらつくことがあります。

夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。

給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。

おふろのお湯はりまたは足し湯中に台所などでお湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。お湯はりまたは足し湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため)

リモコンの表示はそのままです。

<例：給湯温度の設定60；お湯の温度40；>

故障かな？と思ったら-2

次のような場合は故障ではありません

ふろ自動運転を始めると
にごったお湯が出る

- ▶ ふろ自動運転を始めた直後、配管中の残り湯が若干混入します。
特に入浴剤(にごり系)をご使用の場合には目立つ場合があります。

ふろ側の運転中に
循環アダプターから
「ボコ、ボコ」と空気の
出る音がすることがある

- ▶ おふろの配管などにたまつた空気が出る音で、異常ではありません。

追いだきしないのに
浴そうの水が温かくなる

- ▶ 暖房使用中に、ふろの凍結予防(ポンプ自動運転)がはたらくと、浴そうの水が温かくなることがあります。

表示画面(液晶)が
乱れている

- ▶ リモコンをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。(30分以上放置しておくと正常に戻ります。)

表示画面が点滅表示に
なっている

- ▶ 停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が点滅表示になる場合があります。なお、給湯・ふろ設定温度表示・ふろ湯量表示などもお買い上げ時の設定に変わることがありますので、確認してください。

暖房運転中、
放熱器が止まつたり
温度が下がつたりする

- ▶ 追いだき運転中や終了後しばらくの間は、暖房能力が低下することがあります。
放熱器の運転動作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

暖房を使用していないのに
燃焼する
(暖房燃焼表示、暖房燃焼ランプが点灯する)

- ▶ 気温が下がつくると、暖房回路の凍結予防のため、自動的に燃焼することができます。

暖房使用中にお湯を使うと
燃焼ランプが一時的に消える

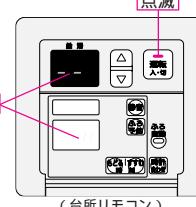
- ▶ 暖房側の湯温調節のため、暖房の燃焼が一時的に止まることがあります、異常ではありません。

故障表示をお調べください

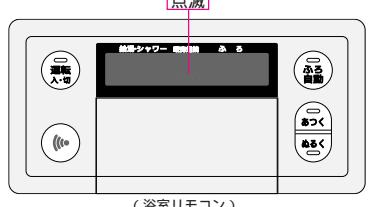
不具合が生じたとき、その原因を故障表示が点滅してお知らせします。(台所リモコンは、運転ランプも点滅します)

下表に応じた処置をしてください。

例:《 111 》を表示したとき、
右図のような点滅をくりかえします。



(台所リモコン)



(浴室リモコン)

表示	原因	処置	暖房を使用しているときは、すべての放熱器をいったん切ってから各々の処置を試してください。
0 11	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。	
0 12	ふろ追いだきを連続90分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。	
1 11	給湯側の点火エラーが生じたため	ガス栓が開いているか確認し、運転スイッチをいったん「切」にして再度「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。	
1 13	ふろ側の点火エラーが生じたため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にしてあつくスイッチを押し表示が出なければ正常です。	
	暖房側の点火エラーが生じたため	運転スイッチと放熱器側の運転をいったん「切」にし、再度両方とも「入」にして暖房運転をし、表示が出なければ正常です。	
15 1	お湯が高温(60°C以上)になつたため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、給湯栓をもっと開いて使用してください。	
5 32	追いだきのとき、浴そうのお湯(水)が足りない	運転スイッチをいったん「切」にして再び「入」にし、浴そうのお湯(水)を循環アダプターの上部より5cm以上入れてから追いだきしてください。(☞P25)	
	浴そうの排水栓の閉め忘れ	浴そうの排水栓をし、再操作をして表示が出なければ正常です。	
90 1	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。	
10 1	給排気に異常が生じたため、安全のため給湯能力を低下させます	能力低下の状態で使用できますが、安全のため点検を受けてください。	
99 1	本体の燃焼に異常が生じたため	修理を依頼してください。	

以下のは、販売店または、もよりのガス会社にご連絡ください

上記以外の表示(例:5 32など)が出るとき
上記の処置をしてもなお表示が繰り返し出るとき
その他、わからないとき

アフタ - サ - ビスについて

サービスを依頼されるとき

39~42ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりのガス会社にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名(本体正面にあるラベルをご覧ください)
お買い上げ日(保証書をご覧ください)
異常の状況(故障表示など、できるだけくわしく)
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業所、販売店または、もよりのガス会社にご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕様表 / 能力表

品名	FT-2899ARSSW ₃ Q FT-2899ARS ₂ SW ₃ Q	FT-2899ARS ₄ SW ₃ Q	FT-2899ARS ₅ SW ₃ Q FT-2899ARS ₆ SW ₃ Q	FT-2899ARS ₇ SW ₃ Q	FT-2899AFS ₁ SW ₃ Q				
品名	135-4030, -4034,-4039型	135-4032型	135-4035型	135-4036型	135-4038型				
型式名	GTH-1605SAWXH-1) GTH-1605SAWXH-T GTH-1605SAWXH-TB GTH-1605SAWXH-H GTH-1605SAWXH-FF-1								
種類	先止め式								
設置方式	屋外設置形								
点火方式	放電点火式								
水圧	98.1 ~ 981kPa (1.0 ~ 10.0 of/f)								
使用水圧	9.81kPa (0.1 of/f)								
最低作動流量	3.5r / 分								
外形寸法	高さ750a × 幅480a × 奥行200a								
質量(本体)	440		450		440				
接続	ふろ(往き・戻り) 暖房(往き・戻り)	R1/2 高温往き・戻り G3/4, 低温往き 7ジョイント							
給湯	給湯	R1/2							
給水	給水	R1/2							
口径	ス	R3/4							
オーバーフロー	オーバーフロー	R1/2							
電気関係	A C 100 V (50/60)								
消費電力(50/60)	265W / 335W	280W / 350W		270W / 340W					
	(凍結予防ヒータ 180W)								
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式								
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、誘導雷保護装置、ポンプ負荷保護装置、逆流防止装置								
使用ガス	1時間当たりのガス消費量(最大消費量)								
	給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側						
都市ガス用	13A 12A 6A	52.1kW(44,800z/h) 48.6kW(41,800z/h) 48.8kW(42,000z/h)	34.9kW(30,000z/h) 32.6kW(28,000z/h) 34.9kW(30,000z/h)	17.2kW(14,800z/h) 16.0kW(13,800z/h) 17.2kW(14,800z/h)	16 15 16	10 9.5 10			
				水温+25;上昇	水温+40;上昇				

・型式名GTH-1605SAWXH , GTH-1605SAWXH-T , GTH-1605SAWXH-TB , GTH-1605SAWXH-H , GTH-1605SAWXH-FF-1は、都市ガス12A , 13Aのみです。

・型式名GTH-1605SAWXH-1は、都市ガス6Aのみです。

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

・出湯能力は湯水混合の計算値です。

但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。

・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。